

ラフター・オルター旋回角度検出器作動確認の件

当社製品をご愛用頂き誠にありがとうございます。

当社製品のラフター・オルタークレーンに搭載している旋回角度検出機器(エンコーダー)に不具合品が混入している可能性について、サービスニュースNo.0044 を発行し、全国の弊社各支店、営業所担当サービス員・営業部員及び弊社サービス工場の担当者から該当する車両を保有するお客様にご連絡し、エンコーダーの部品交換の実施をしています。

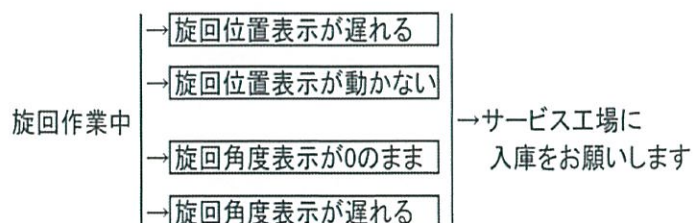
エンコーダーに万一不具合が発生した場合は、旋回位置を正しく検知できなくなるため、アウトリガを異なった張出幅で作業をするような場合、吊上げ限界性能の変化に応じて発すべき警報若しくは自動停止といった過負荷での作業を防止するための機能が作動しなくなる恐れがあります。

安全装置である過負荷防止装置に異常のあるままクレーンを使用する事は法律で禁止されており、直ちに使用を中止しなければなりません。

本不具合の有無を確認する方法として、運転室内の過負荷防止装置表示器(ACS画面)のクレーン旋回角度及び旋回位置の表示を確認することで判断出来ます。

(エラーが表示される場合もありますが、基本は旋回角度と旋回位置の表示状態を見て判断致します。)

クレーン旋回作業中に【旋回角度の位置表示が遅れて表示する場合】や【旋回角度値と旋回位置の表示が動かない場合】など上部旋回体とACS画面の表示状態に不具合の状態が見られた時は速やかに弊社支店、営業所の担当者及び弊社担当サービス工場にご連絡の上、車両をサービス工場に入庫をお願いします。



旋回位置表示

旋回角度表示

